

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブの樹		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 1月 10日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・併設のグラウンドを活用し、保護者や地域との連携を深める行事など計画できる。</li> <li>・職員配置について「配置基準」「実務経験」「職員数」等、問題なく配置できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会の計画や地域住民が参加する季節行事の計画</li> <li>・支援者の経験や気づきが増え、児童のよりよい成長に貢献できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や地域が参加する季節の行事(夏祭りや餅つき、クリスマス会等)を計画し、保護者や地域との交流を深める。</li> <li>・学習会や研修会に参加し、知識と経験、向上心を持った支援者の育成に努める。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の体幹強化へのアプローチを構造的に行うことができる。又、児童の発達状況に応じた個別活動と集団活動を計画することができ、専門知識のあるスポーツ指導員からの適切な助言を受けるなどできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的知識を有する指導員を配置し、助言をもらいながら児童の成長発達に繋げていくことができる。</li> <li>・集団活動における喜びや達成感の獲得、及び社会的役割や経験の積み上げを目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童個々のニーズに合わせた療育活動の実現ができ、日常生活動作の向上をはじめ、心の成長も育てていけるよう取り組んでいる。</li> <li>・多くの経験から日常生活における喜びや困りなど自ら表出していける為の礎となる「肯定感」の獲得を目指す。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後デイサービス計画が適切に計画され、保護者に対し丁寧に説明されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の変化に応じて細かな計画変更に取り組んでいる。相談支援事業所や学校など関係機関との連携機会を多く持つこととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの視点から長期にわたり児童の将来について検討会議など聞くことができ、児童の困りに対する背景や将来のイメージについて、より細やかな支援計画が作成できる。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や交流会の機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所開設から日が浅く、保護者会などの前例、ノウハウを持っていない。</li> <li>・地域との関わりのツール自体が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と共に作っていく、イメージで年2回の開催から実施。定着後はベアトレの場を設けるなど、積極的な取り組みを行っていく。</li> <li>・地域への挨拶など行いながら地域の活動を掴み、事業所から参加したり、事業所の行事に誘致するなど取り組む。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等(幼稚園・放課後児童クラブ・児童館)との交流、その他地域の子どもと活動できる機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童の情報交換はあるが、合同行事などへの話に進展しにくい面がある(活動時間の被りや移動の課題)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関の代表行事(芋ほり等)に対し、交歓会などへの移行を提案していく。又、併設のグラウンドを最大限活用した形で、合同行事(活動)へのアプローチを行う。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラムの開催が行えてない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援プログラムの確立ができていない為、具体的な内容や手法について検討を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の事例に該当できるよう外部講師や研修など行う。定期的な個別面談を予定し、困りごとへの相談体制を強化する。</li> </ul>